

7月11日 「海の日は、ありがとうの日」

先週は、学校公開でした。たくさんの保護者の方が、来校し、みなさんの学びの様子をみていただきました。土曜日に学校にきてくださったお客様から、「話し合いが上手ですね。」「学年があがると、とてもよい姿勢で学んでいますね。」「1年生が上手にタブレットを操作して勉強していました」と、お褒めの言葉をたくさんいただきました。副校長先生は、とてもうれしかったです。

さて、今日は、「海の日」のお話をします。
7月の第3月曜日、今年は、7月18日になりますが、「海の日」です。
海の日とは、どんな日で、どんなことをする日なののでしょうか？

「海の日は、海にありがとうの気持ちを伝え、海に囲まれている日本がより豊かになりますように。」と願う日だそうです。

「どうして、海にありがとう」を伝えるのでしょうか？

昔から、人は海の生き物を食べて生きてきました。私たちも、お魚、貝、えび、かに、わかめ、こんぶなど、海にある様々なものを食べています。

他にも、海を通して海外から船にのって荷物が届いたり、反対に、日本から海外に荷物を届けたりしています。

海は、私たちの食生活に欠かせないものだし、海外との交流にも大事な場所なのです。私たちが生きるために必要なものを届けてくれる海へ「ありがとう」の気持ちを伝える日なのだそうです。

学校でも、みなさんは、毎日給食の時間に「海のめぐみ」をいただいています。先週は、お魚のサバを食べましたし、サラダやちらし寿司に入っていたのりも海の恵みです。お味噌汁のだしや調味料の塩も海からのいただきものです。

今日の給食は、ブラジル料理です。まさに、海の向こうの国から伝わってきた料理です。海を越えて文化の交流があったからこそ、日本でも楽しめるのですね。

給食献立によると、「フェイジョアーダ」というメニューです。副校長先生には、どんな料理か想像もつきませんが、給食調理士さんが心を込めてつくってくださいることでしょう。

副校長先生は、みなさんが、海の日を迎える今週、「海のめぐみ」に感謝し、給食調理士さんがつくってくれたおいしい給食で、元気いっぱい運動し、勉強してくれるとうれしいです。